

令和元年度コーディネーター研修会（離島地区：壱岐市）

日 時：令和元年 11 月 18 日（月） 13：00～16：30

場 所：芦辺町クオリティーライフセンターつばさ

参加者：48 名

地域学校協働活動を推進するために、地域の人材や資源を生かした活動プログラムを構築できるコーディネーターを育成し、企画力・調整力・実践力等の資質向上を図ることをねらいとして実施しました。

内 容

講義：「地域学校協働活動の意義とコーディネーターの役割」長崎県生涯学習課

実践発表：「霞翠小学校の地域学校活動」 壱岐市立霞翠小学校地域コーディネーター

- ・翠の会（霞翠っ子育成協議会）の目的と組織
- ・各部の実践活動
- ・取組の成果と課題

霞翠小学校は、平成24年度に県内で最初にコミュニティ・スクールとして地域と連携協働した様々な取組が行われてきました。その中で、特徴的な取組や成果等を発表いただきました。参加者からは、「コミュニティ・スクール2年目であるが、次に進む方向性が示された。」「かすいどんぐり隊の活動内容・成果・課題について知ることができ、大変勉強になった。」との感想が寄せられました。

講義・演習

「コーディネーターに求められる役割とスキル」

- ・学校と地域の連携のあり方
- ・地域及び学校コーディネーターの役割

「三者連携・協働に係る事例を通したワークショップ」

- ・地域教育力を活かしたカリキュラムづくり

コミプロデザインファシリテーション研究所

代表 三角 幸三 氏



三角氏は、校長時代にどのように学校と地域をつないでいったのか経験を交えながら、「コーディネーターに求められる役割やスキル」について話をいただきました。演習では、どのような地域人材を教育課程の中に取り入れることができるか、参加者同士で相談しながら壱岐市のカリキュラムを用いて具体化しました。

参加者からは、「演習では、地域の人たちの姿が頭に浮かんできて、できそうなことややるべきことが見えてきた。」「地域の人を学校カリキュラムに位置づけることができ、活用できるということが分かった。」との感想をいただきました。